

## 第 25 (18) 話 知性について

明日は「知道プロジェクト発表会」ですが、今日は、本校のロータリーにある3つのモニュメントを通して、「知性」について考えてみます。



まず、至誠一貫。「知的廉直」(Intellectual Honesty)という言葉もありますが、知的な意味でも、誠実さを貫く。

知的に誠実ではない行為にもいろいろとありますが、例えば、AIに生成させたものを、自分が作ったものだと偽る。それは知的に不誠実極まりない行為です。また、“Slop”と言われるような劣悪なコンテンツに自分の名前をつけ、自分の名誉を傷つけることにもなりかねません。知的な意味でも、裏表なく、誠実さを貫きましょう。

次に、堅忍力行。知的な意味でも粘り強く取り組む。知的執念 (Intellectual Tenacity) が大事です。

例えば、わからない問題があった時、あっさり「わかりません」と白旗をあげたり、白紙や空欄、無言で済ませたりするのではなく、なんとか答えを導き出そうと全力を尽くす。そのように普段から粘り強く、執念を持って取り組んでいない者が、入試などの本番で粘りを見せられるはずがありません。

一方で、すぐに答えを出せた時でも、別の解き方、別の答え、別の表現はないかと、さらに粘り強く考える。そのように別解を求めて考え抜く Alternative thinkingこそ、AI全盛の時代に必要な力ではないでしょうか。

最後に、わが道をゆく。自分の頭で考え、独自のアイデアを生み出し、自分の言葉で表現していく、自分の手で形にしていく。「わが道」は「わが道」でも、誰かに踏み固められた道ではなく、新しい道を切り拓いていきましょう。わが道を「独創」していきましょう。

以上、「知性」の要素として、誠実さ (Honesty)、粘り強さ (Tenacity)、独創性 (Originality) の3点を挙げてみました。いわば「知性のトライアングル」として頭に置き、学問に一層励んでください。